

ファイバーレーザー溶接機用集塵機

IKURATOOLS レーザーダストコレクター

ISK-F1600DC

特長

ファイバーレーザー溶接専用の 小型集塵機として業界初

※当社調べ

●小型・軽量設計

●速い風速で高い集塵力

当社ヒュームコレクター ISK-M1300FC との比較で 20%アップ (5m/s→6m/s) ※当社比

●フィルター追加で焼損防止構造を強化

2次フィルターを耐熱性のデミスターフィルターとし、3次フィルターとして高温用プレフィルターを追加した

●溶接ヒュームにも対応可能

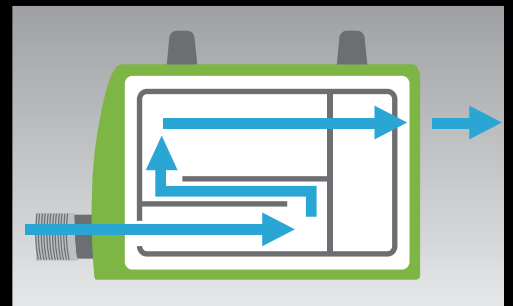
溶接ヒュームを捕集するにはフィルターを交換する必要があります

●工具レス構造

工具レスでダストボックス内の処理やフィルター交換ができます

●吸熱構造

風路を長く取ることで、スパッタの熱を奪うことが可能
スパッタが下層に蓄積し掃除が簡単



●マグネット式吸入口

フレキシブルなホースとマグネット付きの吸い込み口で溶接作業の手元に固定できる



仕様	
定格入力電圧	単相 100V
定格消費電力	230W
外形寸法	W250 × D600 × H410mm
本体質量	23kg
最大風量	5.8 m ³ /min
最大風速	6.0m/s
最大静圧	1.60kPa



レーザー溶接とアーク溶接によって発生する煙の性質の違い

■レーザー溶接

エネルギーを1点に集中し、局所的に溶かして接合する。溶接母材表面の防錆油などがミスト化し、油分を含んだ金属の微粒子となって飛散する。フィルターに固着して目詰まりしやすく、焼損の危険がある。

■アーク溶接

高電圧によって火花を発生させ、その熱で金属を溶かして接合する。油分は燃えきり、金属酸化物中心のヒュームが発生する。粒子は非常に小さいため、高性能なフィルターで捕集する。